



「忠太郎（ちゅうたろう）」現場後代検定調査牛

枝肉調査・検討会が開催されました

～ちゅうたろうにチュ～モク！！～

「忠太郎（平忠勝－勝忠平－安平）」は松浦市志佐町の生まれで、現場後代検定中の種雄候補牛です。

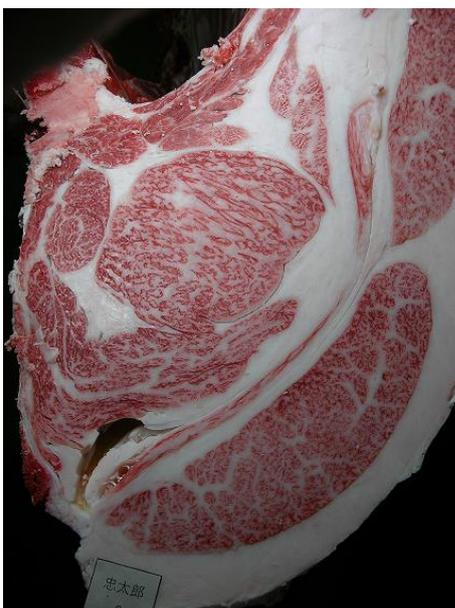
去る、平成30年11月1日（木）に佐世保食肉センターにおいて、全国和牛登録協会をはじめ、生産者や関係機関あわせて33名の出席のもと、「忠太郎」現場後代検定調査牛の枝肉調査・検討会が開催されました。

当センターから出荷された去勢7頭の枝肉成績は、枝肉重量が平均 509.4kg となっており、BMSナンバー10以上が3頭と好スタートを切りました。

また、全国和牛登録協会からは、「ロースの形状は良好であり、サシの形状について初見は粗ザシに見えるものの、小ザシ基調である」との講評をいただきました。

全調査牛を出荷し終えるのが今年度末頃の見込みとなっておりますので、検定成績についてはもうしばらくお待ちください。

以上、忠太郎の途中結果でした。



（忠太郎－平茂晴－百合茂）

BMSナンバー11、枝肉重量 502.4kg